

# わくわくワークショップ

## 自己調整力って何だろう？座談会

本ワークショップへのご参加，ありがとうございます。

ご参加いただくにあたり以下のことに留意してください。

①入室の際は【都道府県・所属・名前】に名前を変更してください。

（例）【香川県 附属坂出小学校 滝井康隆】

②お話しいただくとき以外はマイクはOFFにしてください。

③録音・録画はご遠慮ください。

④チャットを使ってご意見・ご質問を受け付けます。

⑤飲食はご自由にどうぞ♪

※開始時刻18:30まで，しばらくお待ちください。

# 自己紹介

- 香川大学教育学部 准教授 岡田 涼 先生
- 本校研究部 滝井康隆 好井佑馬 米谷直樹



# 自己調整力って何だろう？座談会

18:30～18:35 はじめに

18:35～18:45 自己調整力について

18:45～19:00 自己調整学習について

19:00～19:25 本校の研究授業実践（その1）

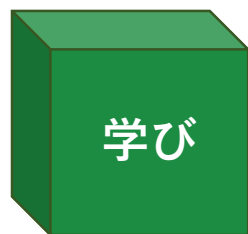
19:25～19:50 本校の研究授業実践（その2）

19:50～20:00 おわりに

自己調整力 = 子供が自分で学びを進めるために必要な力

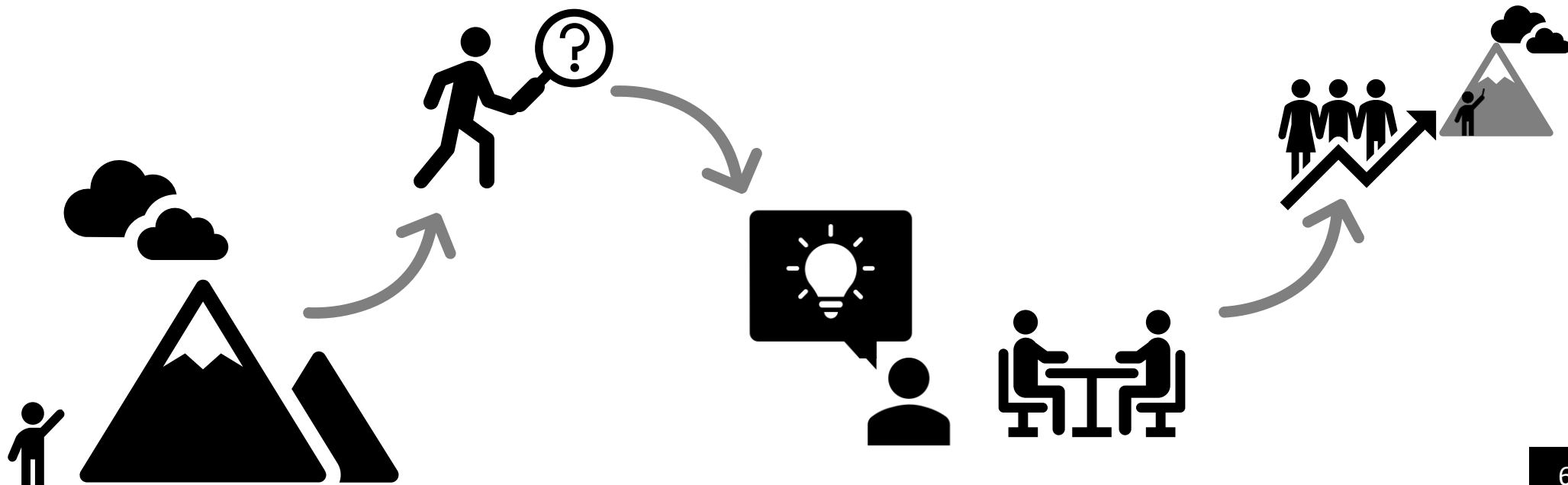
研究主題

多様な他者と共に、  
自ら学びを進める子供の育成  
～自己調整力を育てる学習の展開～



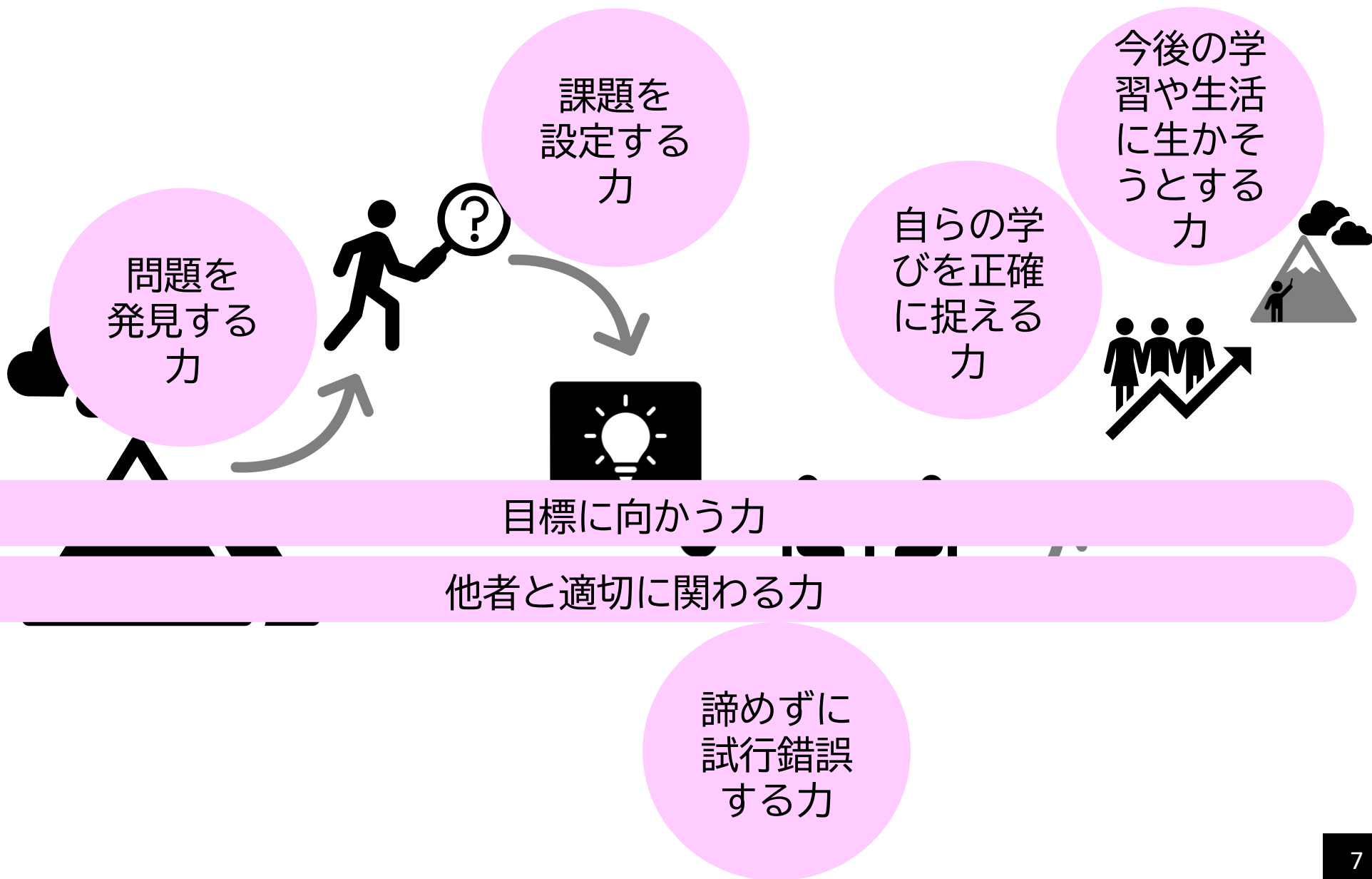
# 多様な他者と共に、自ら学びを進める子供

自らの目標に向かい、  
問題を発見して、課題を設定し、  
諦めずに試行錯誤し、  
自らの学びを正確に捉え、  
今後の学習や生活に生かそうとする子供



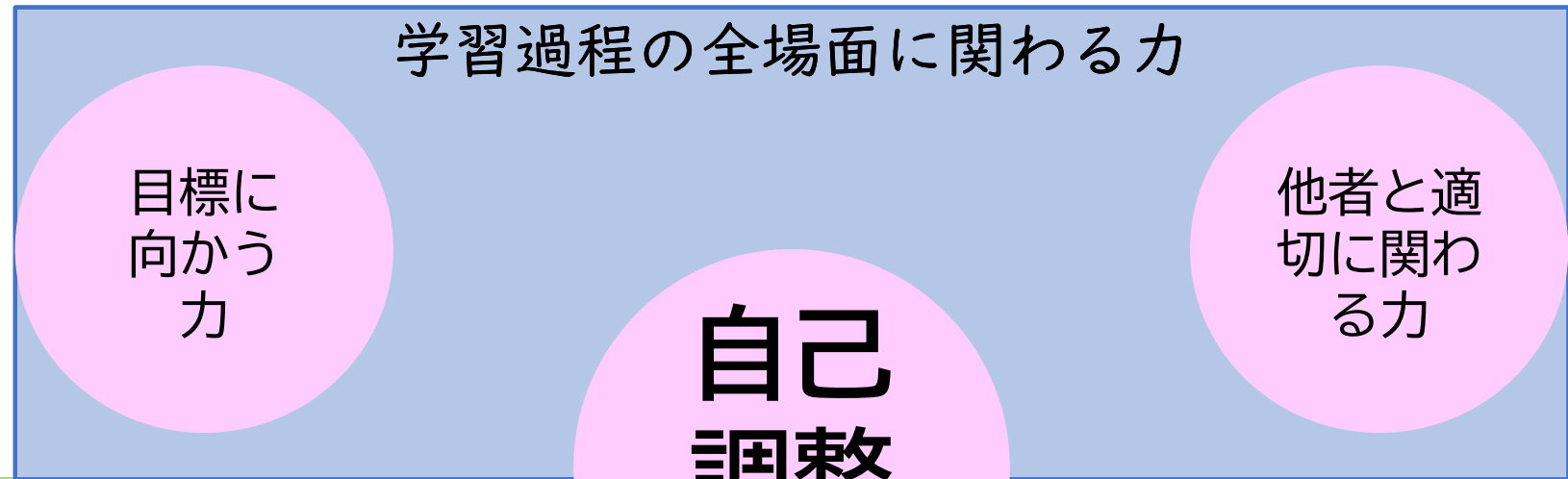
# 自己調整力とは

多様な他者と共に、自ら学びを進めるために必要な力

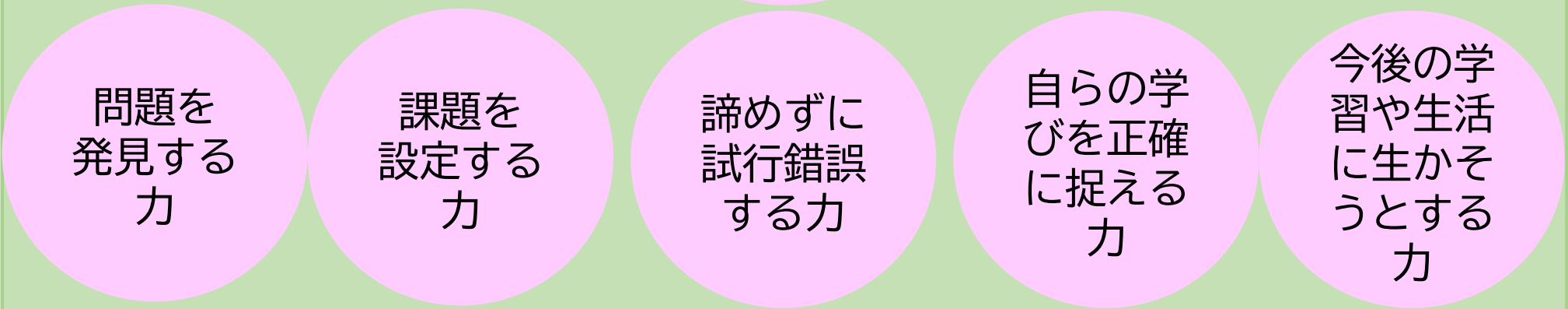


# 自己調整力とは

この七つの力を自己調整力として想定



自己調整力



学習過程の特定の場面に関わる力

# 自己調整力とは

## それぞれの力の具体

目標に向かう力	学ぶことに意義を感じ、自らの目標を達成するために意欲をもち続ける力
他者と適切に関わる力	必要に応じて他者と関わり、多様な考えを受け入れる力
問題を発見する力	自分がやりたいことや知りたいことを見付ける力
課題を設定する力	今の自分に必要なことを考え、やるべきことを決める力
諦めずに試行錯誤する力	多様な考え方で課題解決に取り組み、諦めずに最後までやり通す力
自らの学びを正確に捉える力	自分が分かった（できた）ことや、分かっていない（できていない）ことを表現する力
今後の学習や生活に生かそうとする力	学んだことと今後の学習や生活をつないで考え、どのような場面で活用できるか発想する力

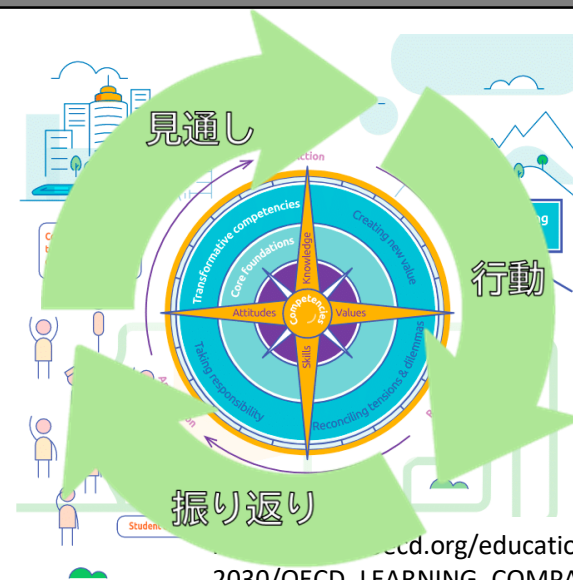


## 単元・題材の流れ

見通し場面

行動場面

振り返り場面



他者と適切に関わる力

目標に向かう力

## 一単位時間の授業の流れ

見通し場面

行動場面

振り返り場面

問題を  
発見する  
力

課題を  
設定する  
力

諦めずに  
試行錯誤  
する力

自らの学  
びを正確  
に捉える  
力

今後の学  
習や生活  
に生かそ  
うとする  
力

# なぜ、自己調整力を育てよう と思ったのか・・・？



## 自己調整力

「学びに向かう力、人間性等」の育成は幼児期から成人までかけて徐々に進んでいくものですが、初期の試行錯誤段階を経て、様々な学びの進め方や思考ツールなどを知り、**経験していくことが重要です**。とりわけ小学校中学年以降、**学習の目標や教材について理解し、計画を立て、見通しをもって学習し、その過程や達成状況を評価して次につなげるなど、学習の進め方を自ら調整していくことができるよう、発達の段階に配慮しながら指導することが大切です。**

(文部科学省初等中等教育局教育課程課『学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料』)

学びに向かう力  
人間性

どのように社会・世界と関わり、  
よりよい人生を送るか

他の二つの柱をどのような方向性で働かせていくかを決定付ける重要な要素

(文部科学省初等中等教育局教育課程課『学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料』)

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を  
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか  
何ができるか

知識・技能

理解しているところを・できる  
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等



# 18歳意識調査



## 自身について

日本は「自分には人に誇れる個性がある」「自分は他人から必要とされている」「勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある」「自分のしていることには、目的や意味がある」「自分の人生には、目標や方向性がある」で6カ国中最下位となった。

また、日本は「日々の生活で不安やゆううつを感じる」が65.3%で、6カ国中最も多い。

自分に自信がもてていない 目標がない、  
目標を立てたことがない

※「はい」回答率を掲載

	自分には人に 誇れる個性がある (単位：%)	自分は他人から 必要とされている	日々の生活が 楽しい	日々の生活で 不安やゆううつを 感じる	趣味など、 何か夢中になれる ことがある	自分のしている ことには、目的や 意味がある	自分の人生に は、目標や 方向性がある	目標を立て、 何かを達成した 経験がある
日本	47.9 6位	52.7 6位	67.7 5位	65.3 1位	80.4 6位	63.5 6位	60.6 6位	75.2 5位
アメリカ	74.0	67.7	69.0	58.0	81.5	70.0	75.2	76.8
イギリス	72.2	64.6	63.4	56.7	82.7	67.8	73.6	73.4
中国	74.2	77.3 1位	79.5 1位	46.2	82.4	82.6 1位	81.3	78.1
韓国	68.9	73.7	76.1	49.0	83.9	79.9	74.5	84.5 1位
インド	84.0 1位	59.6	78.4	35.1	88.8 1位	80.1	88.2 1位	79.2

## 学校で勉強をする意味として重視してきたもの

6カ国共通して、「よりよい職業に就職できる」「将来の所得が高くなる」「目指したい目標が見つかる」が上位に挙がる。

日本では「自分の関心が広がる」「よりよい学校に進学できる」も上位に挙がる。また、「特にない」が12.7%と他の国に差をつけて多い。

Q 学校で勉強をする意味として、あなたが最も重視してきたものを3つまで選択してください。（複数回答3つまで）

	日本 (n=1000)	アメリカ (n=1000)	イギリス (n=1000)	中国 (n=1000)	韓国 (n=1000)	インド (n=1000)
1位	よりよい職業に就職できる 32.3%	1位 将来の所得が高くなる 43.5%	1位 将来の所得が高くなる 44.0%	1位 よりよい職業に就職できる 31.5%	1位 よりよい職業に就職できる 39.6%	1位 目指したい目標が見つかる 48.6%
2位	自分の関心が広がる 29.3%	2位 目指したい目標が見つかる 37.4%	2位 目指したい目標が見つかる 40.1%	2位 目指したい目標が見つかる 31.4%	2位 目指したい目標が見つかる 39.2%	2位 将来の所得が高くなる 41.1%
3位	将来の所得が高くなる 27.0%	3位 よりよい職業に就職できる 34.9%	3位 よりよい職業に就職できる 37.7%	3位 国や社会に貢献できるようになる 30.4%	3位 将来の所得が高くなる 30.9%	3位 よりよい職業に就職できる 33.3%
4位	よりよい学校に進学できる 21.5%	4位 自分の関心が広がる 27.3%	4位 新しい人と出会う 29.3%	4位 多様な意見・価値観を知ることができる 29.2%	4位 よりよい学校に進学できる 25.0%	4位 国や社会に貢献できるようになる 29.2%
5位	目指したい目標が見つかる 21.2%	5位 新しい人と出会う 26.7%	5位 自分の関心が広がる 23.8%	5位 将来の所得が高くなる 27.4%	5位 勉強することが義務だから 22.5%	5位 自分の関心が広がる 21.5%
6位	多様な意見・価値観を知ることができる 20.8%	6位 日々の暮らしに役に立つ 20.2%	6位 日々の暮らしに役に立つ 20.3%	6位 自分の関心が広がる 24.6%	6位 多様な意見・価値観を知ることができる 20.5%	6位 勉強することが義務だから 20.0%
7位	勉強することが義務だから 20.7%	7位 家族から勉強するように言われたから 17.1%	7位 家族から勉強するように言われたから 16.7%	7位 よりよい学校に進学できる 19.2%	7位 自分の関心が広がる 20.3%	7位 日々の暮らしに役に立つ 19.1%
8位	日々の暮らしに役に立つ 19.9%	8位 よりよい学校に進学できる 14.7%	8位 よりよい学校に進学できる 15.1%	8位 新しい人と出会う 14.7%	8位 日々の暮らしに役に立つ 20.1%	8位 多様な意見・価値観を知ることができる 17.4%
9位	新しい人と出会う 14.7%	9位 勉強することが義務だから 13.2%	9位 勉強することが義務だから 12.2%	9位 勉強することが義務だから 13.1%	9位 新しい人と出会う 19.9%	9位 新しい人と出会う 15.9%
10位	家族から勉強するように言われたから 9.4%	10位 多様な意見・価値観を知ることができる 11.0%	10位 国や社会に貢献できるようになる 10.7%	10位 日々の暮らしに役に立つ 13.0%	10位 家族から勉強するように言われたから 14.6%	10位 家族から勉強するように言われたから 11.7%
11位	周りのみんなが勉強していたから 8.7%	11位 国や社会に貢献できるようになる 10.9%	11位 多様な意見・価値観を知ることができる 10.2%	11位 周りのみんなが勉強していたから 10.9%	11位 周りのみんなが勉強していたから 12.5%	11位 よりよい学校に進学できる 7.3%
12位	国や社会に貢献できるようになる 7.8%	12位 周りのみんなが勉強していたから 8.5%	12位 周りのみんなが勉強していたから 9.4%	12位 家族から勉強するように言われたから 10.5%	12位 国や社会に貢献できるようになる 9.3%	12位 周りのみんなが勉強していたから 6.5%
	その他 2.5%	その他 4.2%	その他 2.9%	その他 0.1%	その他 1.4%	その他 1.5%
	特にない 12.7%	特にない 3.9%	特にない 2.4%	特にない 0.7%	特にない 2.8%	特にない 0.8%

特にない  
日本  
12.7  
アメリカ  
3.9  
イギリス  
2.4  
中国  
0.2  
韓国  
2.8  
インド  
0.8

学びに意味を見いだせていない。

## 令和4年度 香川県学習状況調査 報告書

令和5年2月

香川県教育センター

2002年（平成14）年から行われている調査  
対象：小5、中2



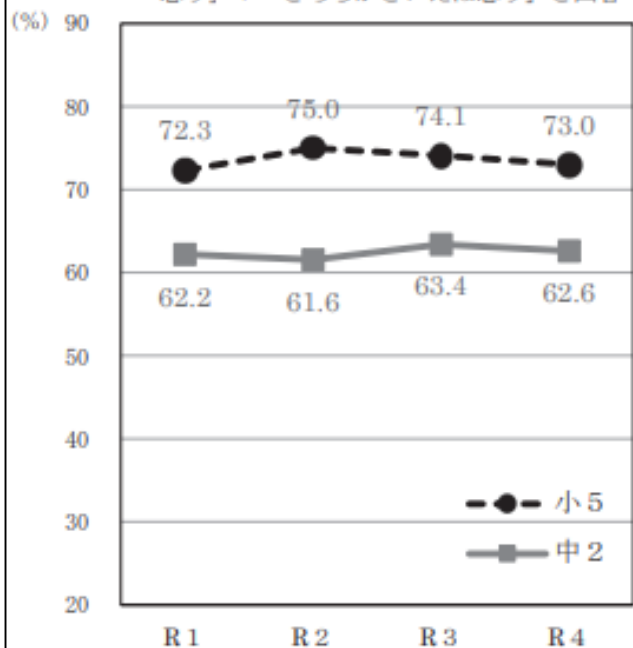
## 授業は楽しいと思いますか。

## 勉強は好きですか。

◇25/25 授業は楽しいと思いますか。

【児童生徒質問紙】

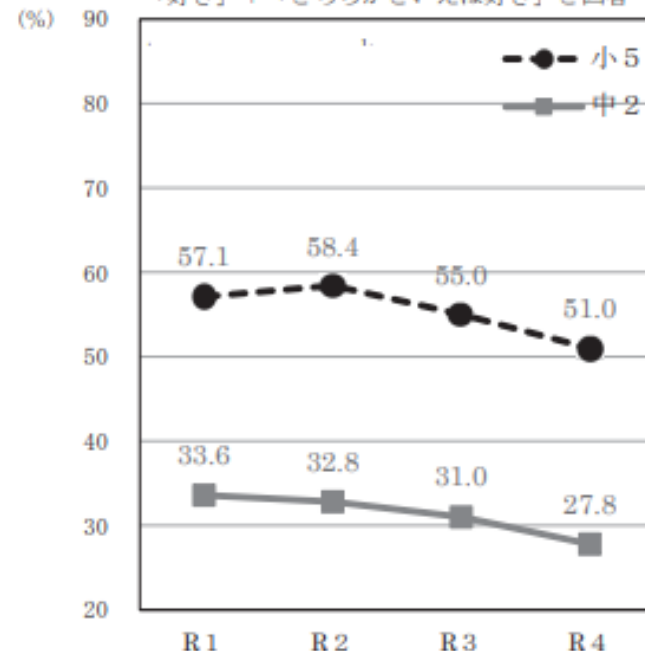
「思う」 + 「どちらかといえば思う」と回答



◇23/23 勉強は好きですか。

【児童生徒質問紙】

「好き」 + 「どちらかといえば好き」と回答



授業は比較的楽しい

自分で勉強することには消極的

## 授業は楽しいと思いますか。

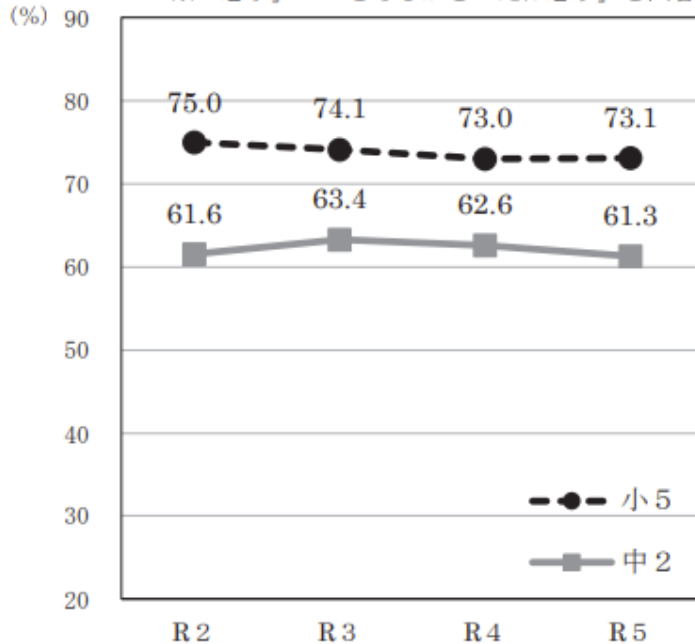
2023(R4)  
↓  
2024(R5)

## 勉強は好きですか。

◇23/23 授業は楽しいと思いますか。

【児童生徒質問紙】

※「思う」+「どちらかといえば思う」と回答

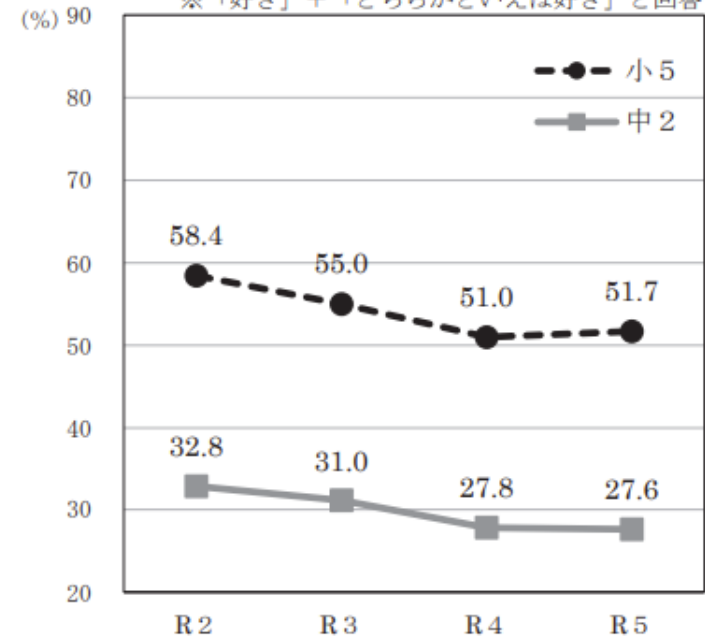


73.0→73.1  
+0.1ポイント

◇22/22 勉強は好きですか。

【児童生徒質問紙】

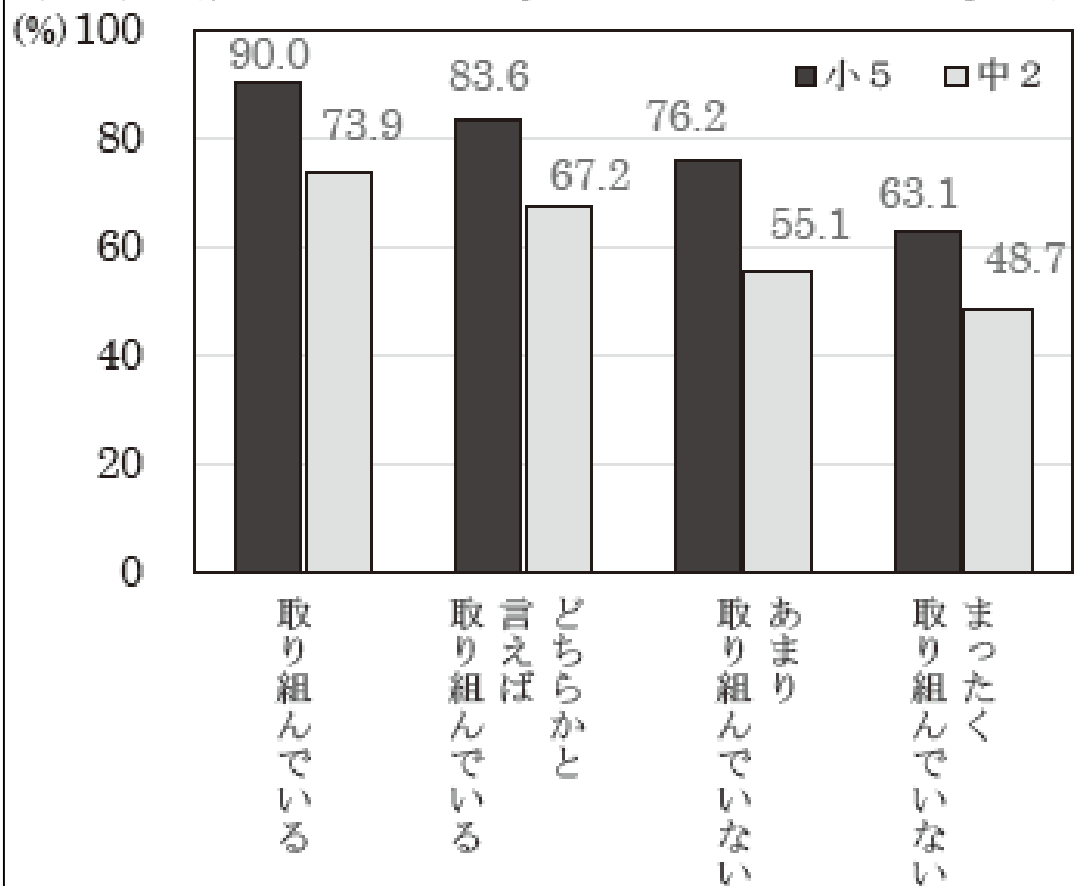
※「好き」+「どちらかといえば好き」と回答



51.0→51.7  
+0.7ポイント

「◇27/27 分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながらあきらめずに取り組んでいる」の回答ごとの「◇7/7 将来の夢や目標をもっていますか」に肯定的に回答した割合

将来の夢や目標を「はっきりもっている」+「はっきりではないもっている」と回答



将来の夢や目標をもっている  
子供



分からない問題があるとき、  
見方や考え方を変えながら諦  
めずに取り組んでいる！



将来の夢や目標をもつ  
ことが重要

これからの学校教育に  
求められるもの

# 主題設定の背景

- これからの子供たちは、人材流動性が高く、キャリアチェンジしながら人生 100 年の間働いていく必要がある時代を生きていかなければならない。学び続けていくためには、自分の学びに主体的に取り組む力(学びに向かう力)の育成が必要であり、狭義の学力の状況に一喜一憂している段階にはない。学校での学びの先にある 10 年、20 年後の社会に子供たちが出ていくということを意識した教育を行うことが重要である。このことがどれだけ教師の中に浸透しているのか、過去の成功体験にひきずられ、これまでの価値観から脱却できていないのではないか、教育委員会が目指すべき姿を伝えられているのかなどについて、振り返ることが必要ではないか。
- 将来社会に出て働くということに対するイメージや職業観を、義務教育段階から子供たちが有することが必要ではないか。

学びに向かう力の育成を目指す。

将来の社会の一員を育てる。→子供にもイメージさせる。

- 特に、学びに向かう力については、目指す姿をより具体化するとともに、教師の支援も得つつ、主体的な学びを実現するため、**子供たちに学びを委ねることが大切である**ということ、メッセージとして強く発信することが重要ではないか。
- また、**教師からの一方通行の授業で教えるという授業観に留まることなく**、子供たちが主体的に学びを選択し、自立した学習者になれるよう、**機会の確保や、学校における学びの先にある社会を意識した授業改善、必要なコンテンツは何なのか**といったことを議論することが重要ではないか。その実現のためには、ICT も効果的に活用した授業実践、教科書・教材、授業時数を含めた教育課程、教員研修の在り方等を一体的に検討し、全体像を分かりやすく伝えていく必要があるのではないか。

授業や単元を通して何をを目指すのか、子供自身の見通し。  
一方通行の授業観からの脱却。



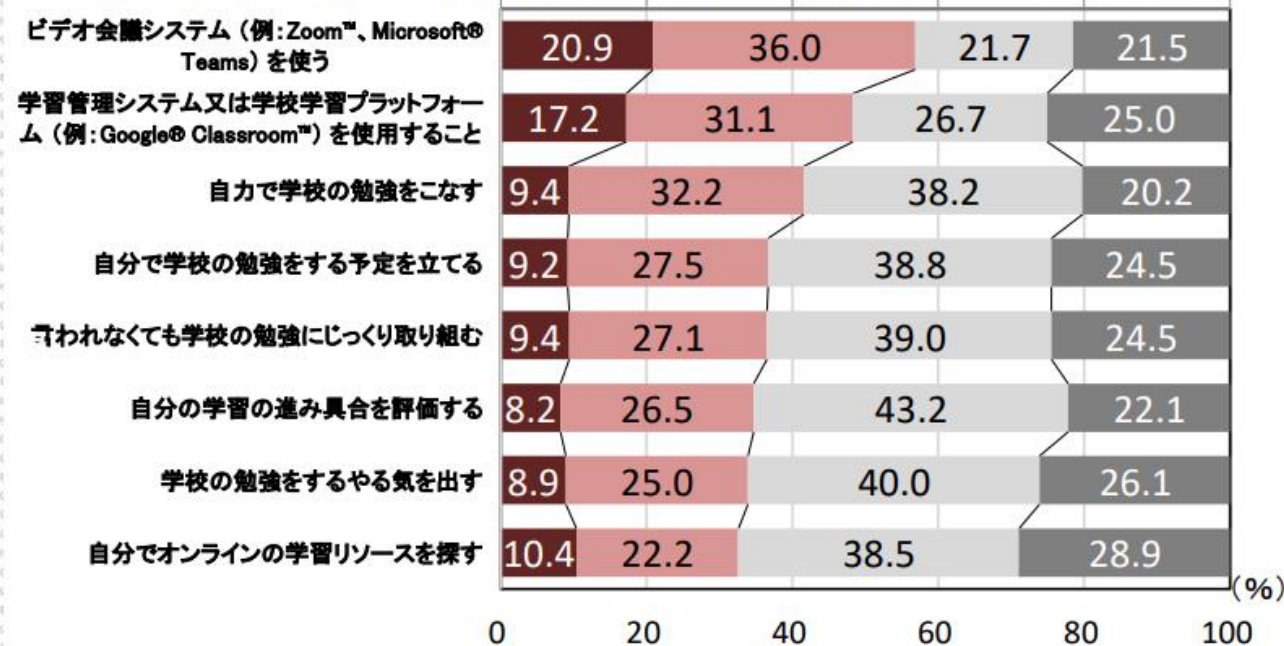
## 自律学習を行う自信

○学校が再び休校になった場合に自律学習を行う自信があるか、という質問に対する回答で、自信がないと回答した生徒が日本は非常に多かった。

### 生徒質問調査 問61 自律学習と自己効力感（日本）

「今後、あなたの学校が再び休校した場合、以下のことを行う自信はどれほどありますか。」

■ とても自信がある ■ 自信がある ■ あまり自信がない ■ 全然自信がない



### 「自律学習と自己効力感」指標

左の8項目の回答割合から指標値を算出。

<b>OECD平均</b>	<b>0.01</b>
<b>34位 日本</b>	<b>-0.68</b>

※OECD加盟国37か国の平均値が0.0、標準偏差が1.0となるよう標準化されており、その値が大きいほど、自律学習に対する自己効力感（自信）が高いことを意味している。

○感染症の流行・災害の発生といった非常時のみならず、変化の激しい社会を生きる子供達が普段から自律的に学んでいくことができるような経験を重ねることは重要であり、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の推進により、自ら思考し、判断・表現する機会を充実したり、児童生徒一人一人の学習進度や興味・関心等に応じて教材や学ぶ方法等を選択できるような環境を整えたりするなど、自立した学習者の育成に向けた取組を進めていく必要がある。

- ・ 将来の目標や夢をもっている
- ・ 学びに意義を見いだしている
- ・ 自ら学ぶことができる
- ・ 自分のよさを認めている



- ・ 何かをしたいという意欲が低い
- ・ 学びに意義を見いだしにくい
- ・ 自分で学びをすすめていくことに消極的
- ・ 自分に自信がもてない

自己調整学習

→何かを成し遂げられると考えられない



# おわりに

主体的対話で深い学びの実現に向けて

全218ページ

フルカラー

糸を変える  
～5つの視点～



香川大学教育学部附属坂出小学校

第4学年 算数科 実践例②

1より大きい分数の仕組みを調べよう

目指す子どもの姿  
学びに向かう力・人間性等  
思考力・判断力・表現力等

知識・技能  
1より大きい分数の大きさを調べる。大小比較や加減計算のしかたについて列題しながら、分数の大きさにまつての感覚を豊かにしている。

単元構成 (全9時間)  
数直線や図等を使って、1より大きい分数の大きさを調べたり、同じ分母の分数を比較したりして、大小比較や加減計算、また、それらの問題づくりに挑戦しながら分数についての理解を深められるようにします。

①② 仮分数を数直線に表して、大きさを調べよう  
1より大きい分数の表し方を確認した後、「もつ」という異なる分母の分数を数直線に表し、仮分数をつくらせ、数直線や図等に表して比較させる。

③④ 仮分数の大きさを分かりやすく表す方法を見つけて共有しよう  
④③ 同じ大きさの分数を見つけて共有しよう  
さまざまな仮分数をつくり、数直線に表す中で、「分子が大きくなる」「同じ大きさの分数があること」に気付くことが想定されます。解決し、解決していきます。

⑤⑥ 仮分数、帯分数、整数の大きさを比べ方を考えよう  
「仮分数は帯分数や整数で表せること」「整数は分母の異なるさまざまな仮分数で表せること」を確認させます。そして、大きさを比べる方法を確立し、十分に理解できていない点を明らかにしていきます。

⑦⑧ 仮分数、帯分数、整数が混じった問題に挑戦しよう  
大きさを比べる方法を使って、加減計算に挑戦させます。ここでは、理解できていない点を明らかにするとともに、それらについて対話させる。

⑨ さまざまな問題に挑戦しよう

授業の終わりに、自分の作品を振り返る時間を取ります。作品の上にもう一度透明のシートを重ねて、次にしたい工夫を背で書き込ませます。友達と伝え合う時間を取ってもよいと思います。

UD 透明のシートの上にもう一度透明のシートを重ね、色の工夫は黒、次にしたい工夫は青で色分けして書き込んで、友達と伝え合う時に視点が分かりやすくなります。

次の時間ははじめに、前時にシートに書いた工夫を確認したり、友達と伝え合ったりしてから製作を始めます。途中で表し方の工夫を伝え合い、最後に作品を振り返り、次の工夫を考えます。

どのよう生き物や植物を表現したいか、共有することで、自分の工夫を伝え、活動の共通点を見つけていきます。

表し方の工夫のポイントを明確にし、共有することで、友達の工夫のよさが分かり、認め合えるようになります。

自分の表し方の工夫について友達と対話することで、自分ができる具体的な工夫の数を増やし、次時につなげていきます。

⑩ 作品を紹介し合おう

対話 「聞き合いの手引き」を想起させてから、鑑賞会をします。

花の色や葉の形、花の黄色や赤が目を引いている。

これは「雨のふしぎな花」です。雨のふしぎな花をくるとまぶさばつて花びらになりました。黄色と赤にして、明るくしました。

ありがとうございます。洗濯ばさみを使って洗っていたら、花びらが落ちてきたから、他の形も使ってみました。

検索

香川大学教育学部  
附属坂出小学校

おわりに

# Instagramのご案内

## 第1学年音楽科

その場でつないで♪  
たんうんミュージック



## 見通し

身体や身の回りの物を使って  
出せる音を探求音遊び



この音は「たんうんミュージック」  
にも生かせよう！



## 行動力

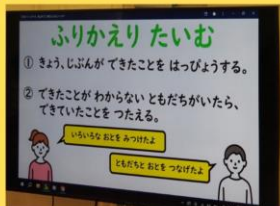
20分間の「自分たちで取り組む大  
法を選択しながら学びを進める時間」

どんな工夫をしているか  
見に来たよ。

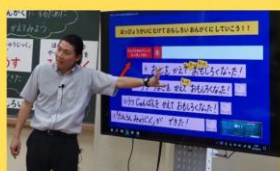


## 振り返り

自分ができたことを振り返ることで  
自分の学びを足える



いろいろな音で  
友達とつながられたよ。



令和5年度

## 学びをつくる 子供の育成

香川大学教育学部附属坂出小学校

この記事がいいなあと思ったら  
2回タップ❤️をお願いします!!

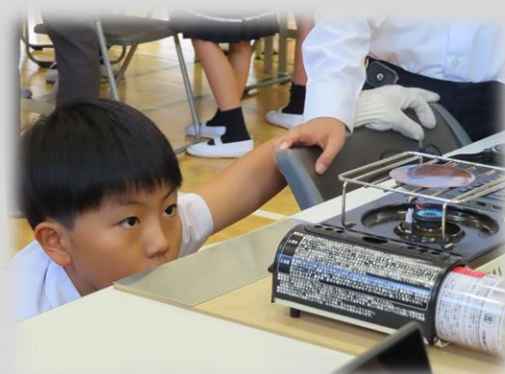
ご参加いただいた皆様の声  
を基に、今後のワーク  
ショップをより充実させて  
いきたいと考えております。  
アンケートにご協力くださ  
い。忌憚のないご意見をど  
うぞよろしく願いいたし  
ます。



おわりに

2024（令和6）年度 附属坂出小学校 教育研究発表会

2025（令和7）年1月31日（金）



お会いできるのを楽しみにしております。